

## 現在主義と『特権的な現在』直観

梶本 尚敏 (Naoyuki Kajimoto)

シドニー大学

現在主義の長所としてしばしばあげられるものの一つに、『今は特別である』という直観（『特権的な現在』直観）を B 理論よりたやすく説明できる」というものがある。過去・現在・未来の時点が等しく実在すると考える B 理論者に対し、現在主義者は現在のみが実在すると主張する以上、B 理論よりも現在主義の方が現在の特権性についての私たちの直観をたやすく説明できるというのは当然の帰結のように思われる。本発表ではこの広く受け入れられてきた主張、すなわち現在主義が我々の『特権的な現在』直観によって動機づけられうるという主張を批判的に検討する。

本発表は以下のように進められる。まず、『特権的な現在』直観に基づいて現在主義を擁護する論証を最善の説明への推論 (inference to the best explanation) として定式化する。この定式化によれば、『特権的な現在』直観についての最善の説明を与えられるのは現在主義であり、それゆえに我々は現在主義を採用すべきだということになる。ここで重要なのは、現在主義者は『特権的な現在』直観についての自身の説明が B 理論の説明よりも優れていることを示す必要があるということだ。以降では、少なくともこれまでのところ現在主義者がこのことを示せていないということを示す。まず、『特権的な現在』直観についての現在主義の説明としては、(i) 現在性による説明、(ii) 現在のみが存在するという存在論による説明の 2 種類が考えられるが、(i) はすでに様々な困難に直面することが指摘されており、したがって現在主義者は(ii)を採用する必要がある。発表者は (ii) が B 理論が与える説明より優れた説明とはいえないことを示したうえで、いくつかのありうる反論に応答する。以上から、『特権的な現在』直観は現在主義を支持する動機にならないという結論が導かれる。